

【編著者紹介】

木下智史（きのした さとし）

関西大学大学院法務研究科教授

1985年京都大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学

専門分野：人権規定の私人間効力論、「法人の人権」論、表現の自由論、アメリカの憲法理論

㊦ 初版から35年。この「一風変わった」憲法の教科書が新たな執筆者を加えてより多くの読者に届くのは嬉しい。「憲法嫌い」から脱却して憲法を活用できる主権者になってほしい。

上脇博之（かみわき ひろし）

神戸学院大学法学部教授

1991年神戸大学大学院法学研究科博士課程後期課程単位取得退学

専門分野：政党に関する憲法問題、特に、選挙制度、政治資金制度、議会制民主主義論

㊦ 日本国憲法を深く学習すればするほど、主権者の一人として国家権力の暴走と人権侵害に抵抗したくなりますよ。

渡辺 洋（わたなべ ひろし）

神戸学院大学法学部教授

1998年早稲田大学大学院法学研究科博士後期課程修了要件取得満期退学

専門分野：憲法の規範性の条件（憲法原理論）

㊦ 読者のみなさんへのメッセージは、「これから憲法を学ぶみなさんへ」（iv頁）と「憲法をもっと知りたい人のために」（105頁）でたくさん言わせていただきました。

守谷賢輔（もりや けんすけ）

福岡大学法学部准教授

2008年関西大学大学院法学研究科博士課程後期課程単位取得満期退学、博士（法学）

専門分野：先住民の権利

㊦ 憲法の勉強は、人類の犯した罪とその克服の歴史を学ぶことでもあります。本書を通じて、一人ひとりが尊重される社会とは何かを考えてもらえれば幸いです。

金原宏明（かねはら ひろあき）

熊本学園大学経済学部准教授

2017年関西大学法学研究科博士課程後期課程修了、博士（法学）

専門分野：表現の自由、憲法訴訟

㊦ この本を手にとってくださった方の多くは大学生だろうと思います。本書を通じて大学生活での視野が広がれば幸いです。

高 希麗（こう ひりょ）

四天王寺大学経営学部講師

2019年神戸大学大学院法学研究科博士課程後期課程修了、博士（法学）

専門分野：国籍法、外国人の人権

㊦ 憲法は私たちの生活と密接に関わっています。この本を通じて様々な観点から興味を持ってもらえると嬉しいです。

脇田吉隆（わきた よしたか）

元神戸学院大学総合リハビリテーション学部准教授

1985年神戸学院大学大学院法学研究科博士課程後期課程単位取得満期退学

専門分野：憲法学方法論、実践研究と実践教育、冤罪再審事件の憲法学的解決

㊦ 「すべての人が幸せに暮らせる社会」を実現するために、日常生活に起こる社会現象を法学的・憲法学的視点で実践的に学んでほしい。冤罪犠牲者を人権の視点で救済する方法を学んでほしい。